

1. 男女共同参画社会って何？（ジェンダー：社会・文化的に作られた「性別による役割せやイメージ」）
 - ・真の意味での「適材適所」な社会 性別に縛られず、一人ひとりが、本当に自分が望む適材適所での活躍を実現していく社会
 - ・今までの「性別役割分業」型社会から、「男女共同参画」型社会、「ジェンダー平等」型社会へ、社会全体の作り替え → だから社会を挙げた取組が必要
 - ・男女の「形式的平等」から「実質的」平等(ジェンダー平等)へ、「公平性」、「公正」がカギ
 2. 性別役割分業社会とは？
 - ・性別役割分業(男は仕事、女は家庭)という典型的なジェンダーが支配する社会 → 自分の中にある「アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)」への気づきの大切さ
 3. 性別役割分業(ジェンダー)の何が問題なのか？
 - ・怖いのは、「自分で決めたことだから」と思い込ませるアンコンシャス・バイアスの目に見えない呪縛
 - ・男性も、ジェンダーによる縛りや抑圧は深刻 → 若年世代男性～ジェンダーに縛られないワーク・ライフ・バランス志向に意識変化、にも関わらず大きい仕事の負荷による矛盾
 4. ジェンダー平等社会の実現は、なぜ緊急課題なのか？
 - ・予想以上のスピードで進む少子化 子育て問題以前に、未婚化、「結婚のリスク化による諦め」という課題に本気でどう取り組むかが問われる時代、若年世代で進行する男女間、女性内の経済格差の拡大により、結婚以前に恋愛市場から若者の撤退
 - ・少子化対策の切り札こそ、男女共同参画 → 男女間、女性内の賃金格差(正規・非正規)の解消が必要
 5. これからの男女共同参画、ジェンダー平等の方向性は？
 - ・「今までの男性並みに女性を働かせる」社会ではなく、「今までの女性のように、男性が生活を大切にす
- る」社会、「男女がともに、生活を基盤に、仕事でも活躍できる社会」こそ本質。(やはり基本は、性別を問わず人間として尊厳のある生活)
6. 男女共同参画、ジェンダー平等を妨げるもの？
 - ・いまだに根強い性別役割分業意識(男は仕事、女は家庭)(根本問題) 最近は、「新・性別役割分業」=「男性はもっと仕事、女性は、家事・育児プラス仕事」 → 男女ともまだまだ呪縛
 - ・女性が実際に本来の力を発揮して活躍できる場の乏しさ → 原因をすぐ女性自身の意欲のなさとする固定概念、もっと原因を掘り下げようとしない認識の浅さ、女性活躍のためには学習、経験の機会づくりがセットで必要という観点の乏しさ(女性活躍のための3K=期待して、機会を与えて、鍛える)
 - ・男性たちの誤解 男性こそ自分事、今後は「男性中心型雇用慣行、男性稼ぎ主モデル」社会の変革こそがカギになる
 7. 男女共同参画社会をめざして
 - ・男女共同参画社会は、あらゆる人間の人權を大切にする社会そのもの
 - ・身近な世界から社会全体へ少しずつ 自分自身の中の「アンコンシャス・バイアス」に気づき、できることから少しずつ変えていく

引用:2025年9月6日 第12回はままつ女性カレッジ公開講座

講義「自分らしく輝ける社会って？ 男女共同参画ってなんだろう」

静岡県立大学 男女共同参画推進センター長 国際関係学部 教授 犬塚恭太

(浜松市男女共同参画審議会会長)

豊岡市
ジェンダーギャップ
解消戦略



「男だから」 「女だから」 を超えていく

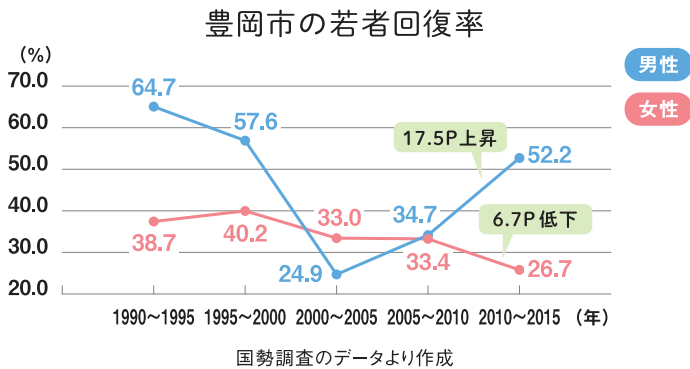
すべての人が生きやすく、
生きがいのあるまちへ

♂=♀



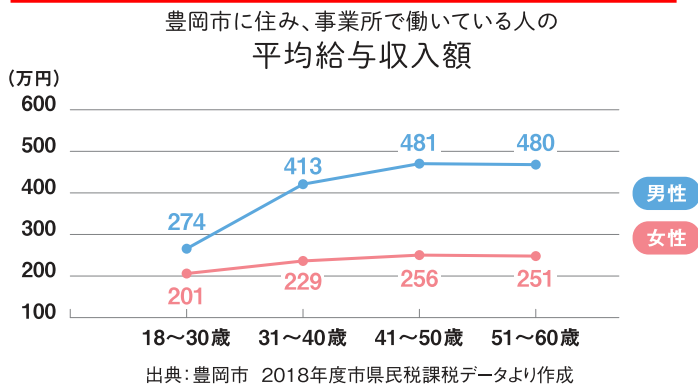
豊岡市の現状をジェンダーギャップで見ると…

若い女性に選ばれていない！

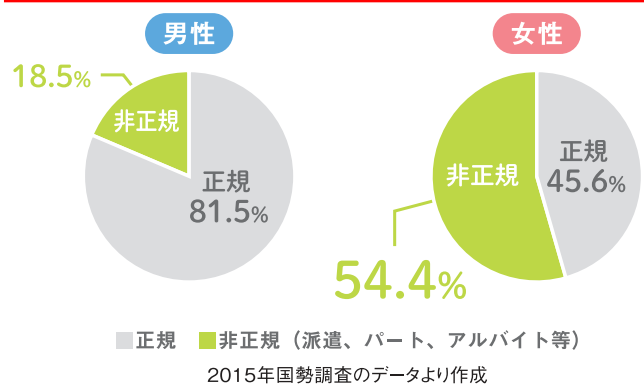


男女を問わず、若者が地方を去り大都市へと流れる背景に、「社会的・経済的・文化的に豊かな大都市と貧しい地方」という強いイメージがあることが指摘されています。とりわけ豊岡が若い女性たちに選ばれていないのは、ジェンダーギャップの解消が進んでいないためだと考えています。女性が女性であるというだけで、補助的役割のみに甘んじ、能力を磨き、発揮する機会もないとすると、①社会的損失、②経済的(企業業績・地域経済)損失、③公正さといのちへの共感に欠けると言わざるをえません。

給与格差は50代で約2倍！

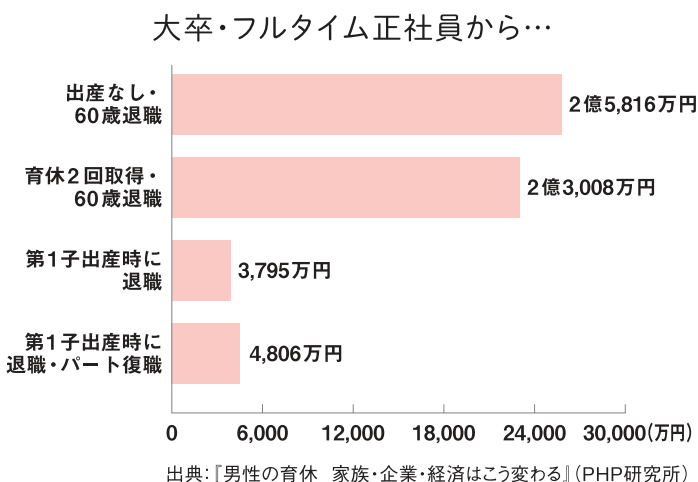


女性の半数以上が非正規社員！



女性の非正規雇用が多い原因は、女性が結婚や出産により退職し、その後に非正規で再就職するからではないか、そして、非正規雇用が多いことによって、男女の平均給与収入額にも大きな格差が生じているのではないかと推測されます。

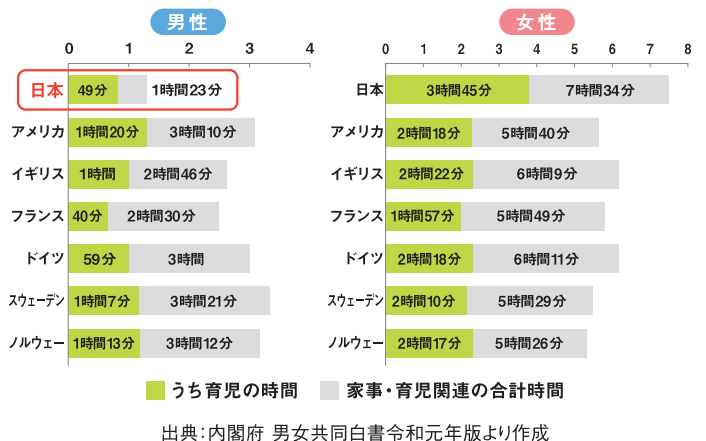
全国的にも、働き方で女性の生涯賃金はこんなに違う！



女性が退職で失う賃金は約2億円?! 年金額にも影響が…

日本の男性の家事・育児時間は先進国最低レベル

6歳未満児のいる男女の育児、家事関連時間(1日あたり)



妻は夫の5倍以上も家事・育児に時間を費やしている

後期

豊岡市

ジェンダーギャップ

解消戦略



「男だから」 「女だから」 を超えていく

すべての人が生きやすく、
生きがいのあるまちへ

♂=♀



ジェンダーギャップが解消された豊岡市の未来



子連れパパがまちにあふれている



世代間でも話を共有できる



コウノトリにあえるまち

資料 3-2



家事・育児を分かち合う



子どもが夢を持てる



続々広がる! 豊岡市のジェンダーフリーな取り組み

女性も若者も声が届く自治会へ——福田区の挑戦



福田区では、地域活動においても性別や年齢に関係なく、誰もが意見を出し合える仕組みづくりを進めています。まず女性役員の数を増やすことを目的とするのではなく、女性や若者など多様な声を丁寧に聴き、地域の行事や役割分担を見直すことから取り組みを始めました。これまで女性に偏っていたまつりの接待や災害時の炊き出しなどの役割を見直しました。負担の偏りを減らすことで、誰もが参加しやすい環境づくりを進めています。また、自主防災特別委員会の委員に女性が登用（男性3人・女性2人）され、災害対策にも多様な視点が活かされています。こうした積み重ねが、結果として女性や若い世代の参画を広げ、持続可能で活気ある地域づくりにつながっています。

誰もが意見を出し合える仕組み

誰もが参加しやすい環境

「多様な視点」が地域づくりに活かされる

社員の人生に寄り添う会社へ——中田工芸株式会社の挑戦

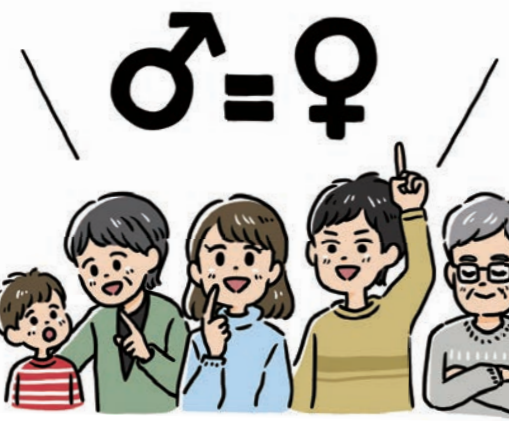


中田工芸株式会社は、ジェンダー平等の実現に向けた取り組みを社内外に宣言し、誰もが働きやすい職場づくりを進めています。2019年には、子どもが生まれた社員に6年間で30日の有給休暇を付与する「ペアレント休暇」を創設。2024年度には介護にも対象を広げ、子育てや家族のケアと仕事を両立できる環境を整えました。さらに、女性社員の提案をきっかけに子育てサポート企業として認定「くるみん」を取得したほか、豊岡市ワークイノベーション表彰「あんしんカンパニー」も取得しています。人事評価も「成果」中心から「行動」重視へと見直し、残業時間の削減と利益率の向上を同時に実現しています。社員一人ひとりの声を活かした改革が、働きやすさと企業の成長の両立につながっています。

2019年、「ペアレント休暇」創設

2024年、介護も休暇の対象に。くるみん取得

「成果」から「行動」を重視し、社員と企業の成長を両立

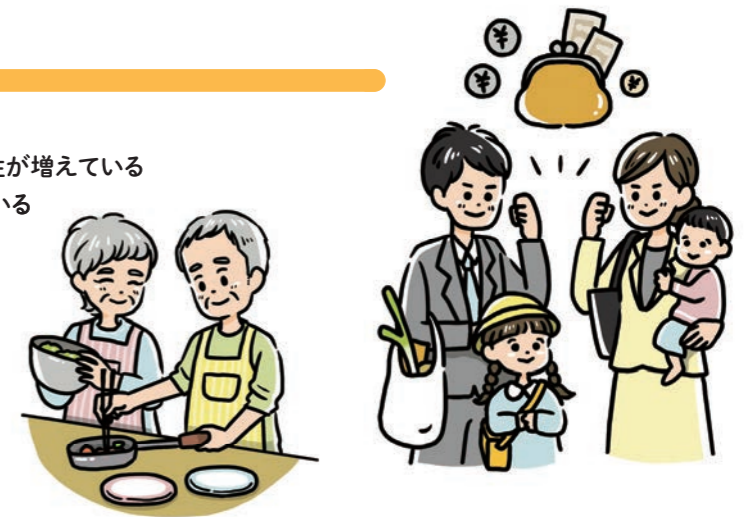


手段 1 市民にジェンダーギャップ解消の必要性が知られている

- ジェンダーギャップ解消の必要性を学び、特に子どもたちの未来に関わることだと理解している市民が増えている
- 多世代・多様な市民が、ジェンダーギャップ解消の意義やメリットを語っている
- 市の施策にジェンダー視点が主流化され、ジェンダーギャップ解消の必要性が市民の暮らしの中に浸透している

手段 4 家庭において男女が家計責任(世帯収入)とケア責任(家事・育児・介護等)を分かち合っている

- 家事・育児・介護等の価値や意義が知られている
- スキルを磨いて家事・育児・介護等に主体的に関わる男性が増えている
- 家事・育児・介護等に関する支援の仕組みが構築されている



手段 2 地域において男女が共に意思決定・方針決定に参画している

- 多世代・多様な市民によるコミュニケーションが活発に行われている
- 地域活動に参画しリーダーシップを発揮する女性や若者が増えている
- 女性や若者の声やニーズが政策に反映されている



豊岡市 ジェンダーギャップ 解消戦略

— 戦略 体系図 —
2021年度 ~ 2030年度

上位目的
この戦略において
5~10年程度で実現したい姿

固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている

戦略目的
この戦略において
3年程度で達成したい姿

ジェンダーギャップ解消の必要性を自分ごととして捉え、行動する人が増えている

手段 3 女性も男性も働きやすく働きがいのある事業所が増えている

- 経営者がジェンダーギャップ解消に向けてリーダーシップを発揮している
- 先進的な事例やノウハウを手本にして変革に取り組む事業所が増えている
- 性別に関わらずフェアな評価により活躍の場が広がっている
- 性別に関わらず家事、育児、介護のための休暇等の取得が進んでいる



手段 5 自分のありたい姿に向かって、経済的に自立し、いきいきと暮らす女性が増えている

- 自己実現に向けてチャレンジする女性が増えている
- まちのあちこちで女性同士のつながりが生まれている
- 経済的に自立するための相談支援体制が構築され、活用する女性が増えている



手段 6 子どもたちがジェンダーギャップ解消の必要性を自分のことばで語っている

- 保育園・こども園・幼稚園・学校等でジェンダー視点を取り入れた保育・教育が行われている
- 子どもたちが性別にとらわれず自分のありたい姿を描き、実現に向けて行動している

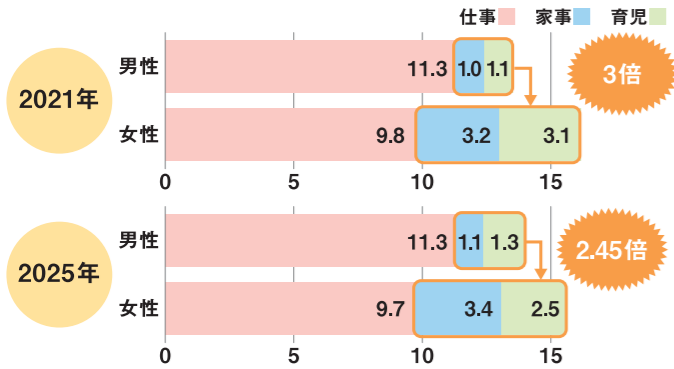


① 家事・育児割合

家庭内における女性の家事・育児負担が縮小



「子育て期世帯における平日の家事・育児時間」
※対象:高校生までの子どもを持ち、働いている方



子育て期世帯における平日の家事・育児時間は、男性2.4時間/日(2021年2.1時間)、女性5.9時間/日(2021年6.3時間)であり、男女差は約3倍から2.45倍に縮小しました。とはいえ、依然として女性の総負担時間は男性より1.9時間長く、特に家事で大きな差があります。

まだまだ課題も……

③ 賃金格差

2017・2024年「豊岡市 男女別・年代別の平均給与収入額(年収)」



※豊岡市市県民税課税データから作成

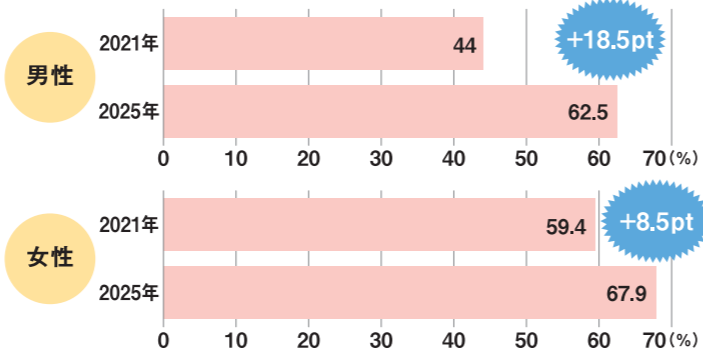
2024年の男女の賃金格差を見てみると、18~30歳の平均給与収入は、男性の75.9%。対して、51~60歳は55.7%と約半分に。年齢が上がるにつれて格差が拡大しており、その傾向は依然として続いています。

② 意識変化

固定的性別役割分担に対して、反対する30代が増加



30代の性別役割分担への意識の変化



①と②とも「豊岡市暮らしの中の性別役割分担の実態と意識」から作成

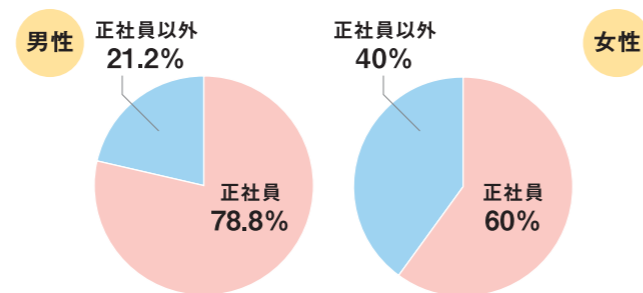
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えに反対する人は全体的に微増しており、特に30代男性では反対割合が2021年の44%から2025年は62.5%へと大きく上昇。若年層を中心に固定的性別役割意識の解消が進んでいることがうかがえます。



④ 正社員比率

賃金格差の背景にあるのは、正社員比率の格差

2021年「豊岡市 男女別雇用者数(正社員・正社員以外)」



出典:総務省統計局「経済センサス活動調査」(2021年)から作成

男性に比べて女性の正社員以外が多い原因は、女性が結婚や出産により退職し、その後に正社員以外で再就職するからではないか、そして、正社員以外が多いことによって、男女の平均給与収入額に格差が生じているのではないかと推測されます。

地域

地域づくりに“多様な視点”を。女性の参画を促進



地域では、多様な視点を意思決定に反映し、誰もが自分らしく参画できる地域づくりを推進するため、会議のあり方を見直してきました。「女性も参加しやすい時間帯や曜日に会議を設定」「地域コミュニティの三役を男女半々に」「祭りや運動会での性別役割分担の見直し」など、具体的な変革を進めています。



アドバイザーである萩原なつ子さん(立教大学名誉教授)を講師に迎えて、29地区の地域組織へ講演やワークショップを実施。

豊岡みらいチャレンジ塾

政治、経済、地域など各分野で活躍する女性リーダーを育成

- 参加者たちの実績
 - 地域の財産区議会で初の女性議員誕生(120年以上男性議員のみ)
 - ゲストハウス、社会保険労務士事務所などの開業。
 - 職場でリーダーに挑戦。管理職として活躍。
 - 役員、経営者として経営改革に取り組む。

延べ77人受講修了!(2022~2024)

教育

性別にかかわらず、自分らしく生きる多様な未来を描けるように



絵本「みらいへのつばさをひろげて」を通じ、性別を問わず自分らしく生きる大切さや多様性を伝える教育を推進。教職員用手引きも活用し市内各校園で実践しています。出石中学校では学びをマンガやジェンダーかるたで表現。子どもが自ら将来を描き他者を尊重する心を育む取り組みが広がっています。



豊岡市出身の絵本作家、羽尻利門さんとコラボして作成した絵本を市内の小・中学校や保育園・幼稚園・こども園に配布

「わたしとまちの未来を変えるために一歩踏み出そう」をテーマに、全5回のプログラムを実施。受講者同士の交流を通して多くの学び合いや異業種交流の機会が生まれています。



年齢は関係ない! やりたいことをやってみる! と気持ちを新たにしました。

政治や社会へ女性が関わることの大切さを学びました!

あとに続く人のためにも声を出して変えていきたい!

「未来を想像しながら行動を」

豊岡市の皆さんが進めてきた取組は、地域や職場、家庭に確かな変化を生み出しています。多様な人が参画し、支え合いながら意思決定に関わるまちは、次の世代に希望をつなぐ力になり、素敵な未来を切り拓

きます。これからの5年でこの取組をさらに進化・深化させ、日本の地方都市の先頭を力強く歩んでください!
(特活) Gender Action Platform 理事、豊岡市ジェンダー平等推進アドバイザー 大崎 麻子さん

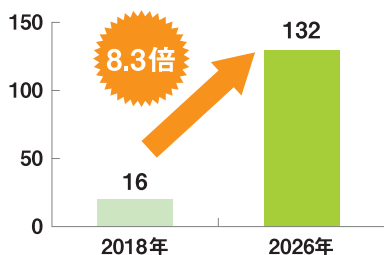


設立の目的

2018年10月に、市役所を含む市内の16事業所が「豊岡市ワークイノベーション推進会議」を設立しました。女性も男性も働きやすく、働きがいのある仕事・職場への変革をより効果的に進めることによって、採用力を高め、人手不足を解消するとともに、多様な人材の活躍による生産性向上を図り、企業価値を高めることを目的としています。

参画事業者数の推移

8年間でこんなに増えました！



『明日からできること』を宣言

豊岡市と豊岡市ワークイノベーション推進会議の官民連携の取り組みの輪は大きく広がり、推進会議加入事業所は設立当初16事業所でスタートしましたが、2026年2月末時点で132事業所まで増加しました。

推進会議の取り組み事例

情報共有や交流の機会を提供



研修会、情報交換、懇親会

毎年、総会とリーダーズハブを開催し、業種間の交流や意見交換、表彰事業所の好事例の共有などを実施しています。また、市とも連携し、女性従業員のキャリア形成支援も並行して進めています。

ブリッジメンバー、2024年から活動をスタート



企業見学の様子

ブリッジメンバー

会員事業所の若手経営者や従業員の11名で企画委員として活動開始。ジェンダー、ジェネレーション、事業所間の橋渡しになるという意味を込めてブリッジメンバーという名称へ。総会や企業見学会等の企画運営を行っています。第1回の企業見学会は『あんしんカンパニー』を受賞した東海バネ工業(株)を訪問しました。

豊岡市ワークイノベーション表彰制度の概要について

2020～2025年度で7社が受賞



せんげんカンパニー



Step1



とりくみカンパニー



Step2



あんしんカンパニー



Step3

- ✓ 一定の要件を満たした事業所を「せんげんカンパニー」「とりくみカンパニー」として登録、認定
- ✓ 従業員意識調査の結果等より、働きやすさや働きがいなどが高い水準に達している事業所を「あんしんカンパニー」として表彰

認定事業所の声

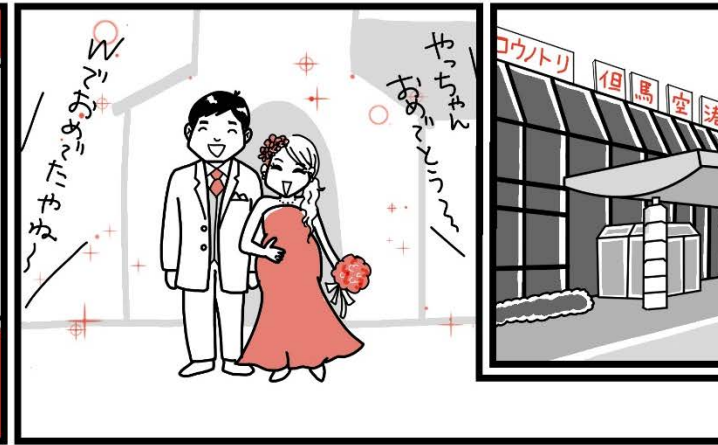
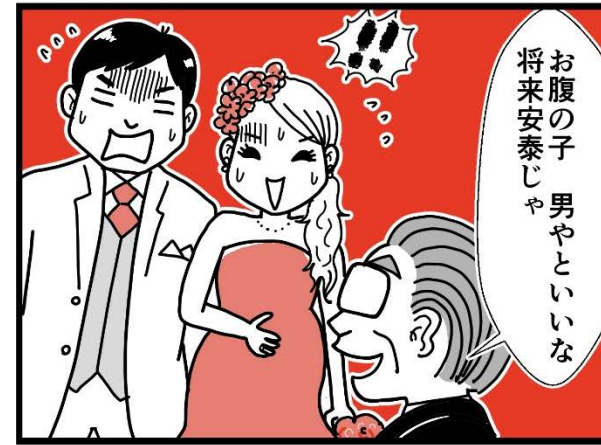
- 採用で応募が増えた!
- 若手の離職が減った!
- 職場の雰囲気がよくなった!
- 女性管理職が増えた!

豊岡市が働きやすく働きがいのある事業所への取り組みを3ステップで応援します!

作：かんべ みのり

【豊岡市】マンガで考えよう！ジェンダーギャップ

第1話「変わる！変える！ジェンダー意識をアップデート！」



豊岡流



家事育児 コミュニケーションシート

楽せす
二人で!

妻が入院した時、家事ができなくて困りました。



定年退職するまで、炊事や洗濯、育児は、すべて妻任せでした。定年後、妻が5日間入院することになり、洗濯機や炊飯器、その他の使用方法を入院先から教えてもらいました。

娘が結婚する時も、娘は妻には詳しく相談していましたが、私には全て決めてからの事後報告でした。子どもや孫たちには同じような思いをしてほしくないと思います。

豊岡市在住 Aさん (77歳・男性)



専門家からのアドバイス



コンボとマネジメントの視点を。

家事・育児1つひとつは大したことなくても、同時多発的なコンボに留意したいです。家事・育児の全体シェアだけでなく、得意不得意はあっても出来ない家事・育児を無くし、夫婦どちらもワンオペ力を最低限備えること。さらに、夫婦どちらも家庭内マネジメントや司令塔も務められると、どんなトラブルも楽にこなせる家族に進化するでしょう。

株式会社日本ギャップ解決研究所 所長 塚越学さん

お役立ち情報

とよおか子ども情報 すくすくタウン city.toyooka.lg.jp/kosodate

出産・子育て応援給付金、不妊治療費の助成、出産前後の支援サービス、乳幼児健診、保育所情報など、子育てに関する情報が詰まっています。どこに相談したら良いかわからない時にお役に立ちます。冊子が必要な方は「子育て支援ガイドブック」をご利用ください。母子健康手帳交付時や転入時にお渡ししています。



くらしの手続きガイド ttzk.graffer.jp/city-toyooka

質問に答えるだけで、結婚・出生・転居などのライフイベントに必要な手続きが洗い出しできます。市役所で必要な手続きは何階の何番窓口か、オンライン申請可能か、勤務先で必要な手続きは何か、一目でわかります。結果はLINEで共有もできますので、手続きのシェアにもお役に立ちます。



まんが&デザイン かんべみのり



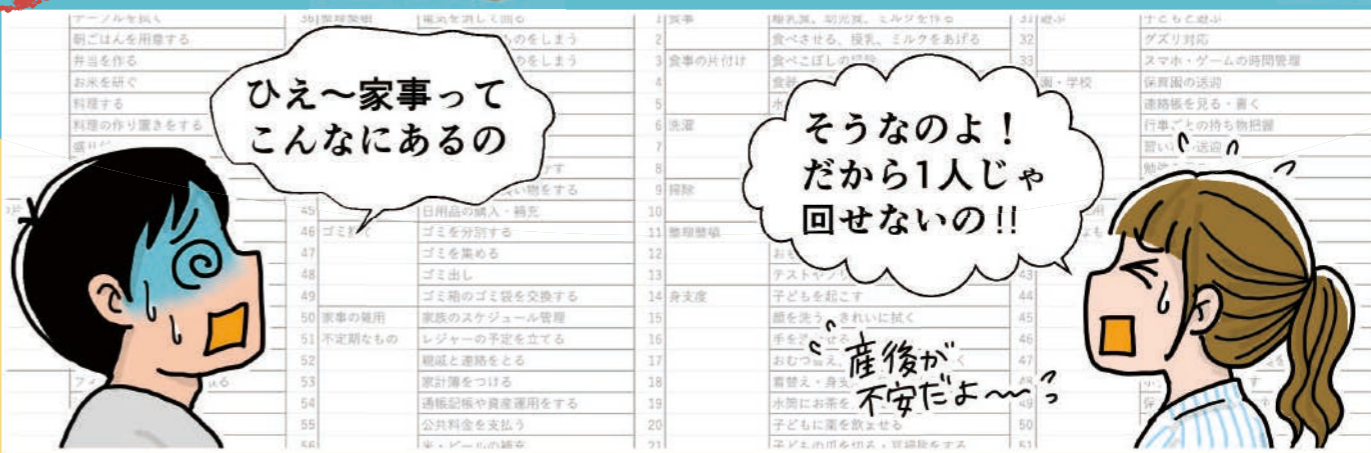
お問合せ先

多様性推進・ジェンダーギャップ対策課

0796-21-9004

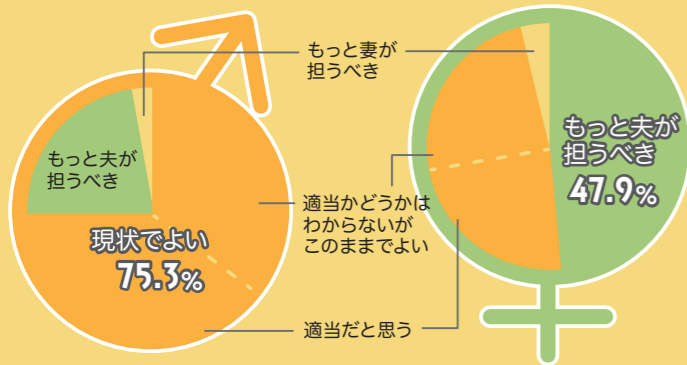
w-innv@city.toyooka.lg.jp

<https://city.toyooka.lg.jp/kurashi/1007000/1008845/1019240/1028521.html>



なぜコミュニケーションが必要か

市では、家事や育児の役割についてアンケート調査を行いました。結果、男性の8割は現状の役割で良いと考えているのに対し、女性の5割はもっと夫が担うべきと考えており、お互いにコミュニケーションが必要であることがわかりました。



未来のために、家族のために、**ラクをして良い**という視点でライフスタイルについて考えてみましょう。

ルール

- ・パートナーの意見を最後まで傾聴しましょう
- ・パートナーの意見を尊重し、共感しましょう
- ・他人の家と比較せず、我が家のコトを話し合しましょう

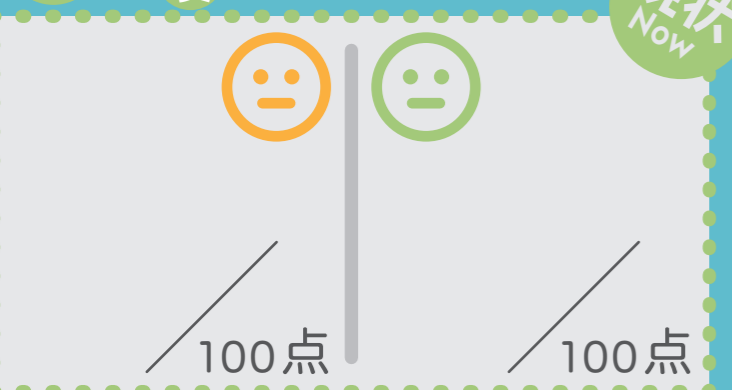
コミュニケーションの進め方

- ① このシートは1枚を共有します。
- ② 別冊「わたしの1日の過ごし方」を使って、現状を把握します。
- ③ わたしの1日の納得度 (Now) を記入します。
- ④ 右ページの4つのことを話し合います。
- ⑤ 今日から変わる! **ラク家事宣言** をします。
- ⑥ 話し合いが終わったら納得度 (After) を記入します。

わたしの1日の

納得度

現状
Now



感謝していること

感謝していることを伝えよう
自分のことをほめてあげよう

例 毎日おいしい食事を作ってくれてありがとう。
毎日洗濯してくれてありがとう。

モヤモヤしていること

モヤモヤしていることを話し合おう

例 自分の時間が少しでもほしいな。
園や学校のことをもう少しシェアできるといいな。

大切にしたいこと

大切にしたいこと、優先順位を話し合おう

資料 5 - 2

例 食事は加工食品や冷凍ではなく、できるだけ手料理で素材にもこだわりたいな。
掃除は毎日してきれいな家で過ごしたいな。

ラクできること、ヤメられること

ラクできること、ヤメられることを話し合おう

例 毎日の掃除はコードレス掃除機で簡単に済ませよう。
洗濯物をたたまずハンガーのまましまえないかな。

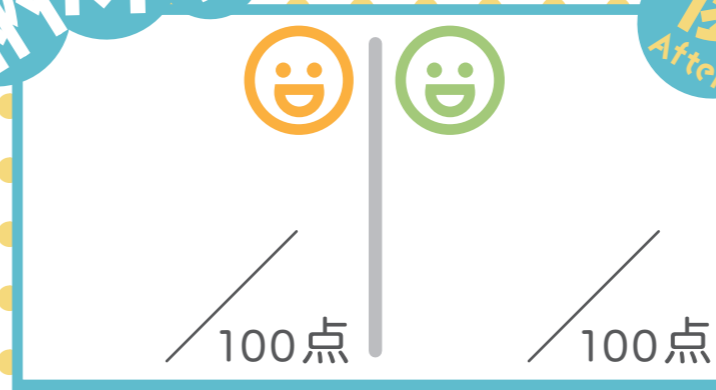
ラク家事宣言

今日から変わる! 「ラク家事宣言」をしてみましょう。2人で1つの宣言でも、それぞれが宣言してもOKです。

納得度

話し合いをしてみて、納得度は変わりましたか。

後
After





右ページのリストを参考に1日の過ごし方を書き出してみましょう

わたしの1日の過ごし方

平日



0時

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

休日



0時

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

主な家事・育児リスト

A 食事

- 1 □ 献立を決めて買い物をする
- 2 □ テーブルを拭く
- 3 □ お米を研ぐ
- 4 □ 料理する
- 5 □ 料理の作り置きをする
- 6 □ 盛り付けする
- 7 □ 食器や箸を並べる
- 8 □ 配膳する
- 9 □ お茶をわかす
- 10 □ 弁当を作る

B 食事の片付け

- 1 □ 食器をシンクに持っていく
- 2 □ 残り物を片付ける
- 3 □ 食器を洗う（食洗機にかける）
- 4 □ 食器を拭く（乾燥機にかける）
- 5 □ シンクを洗う、拭く
- 6 □ 食器・調理器具をしまう
- 7 □ まな板除菌・漂白
- 8 □ 包丁を研ぐ
- 9 □ 排水口のごみを捨てる

C 整理整頓

- 1 □ 電気を消して回る
- 2 □ 出しっ放しのものをしまう
- 3 □ 買い出したものをしまう
- 4 □ 玄関の整理整頓
- 5 □ ベッドや布団を整える
- 6 □ 郵便物の仕分け・整理
- 7 □ 新聞や雑誌を片付ける
- 8 □ ティッシュ・トイレトペーパーの交換
- 9 □ カーテンを開ける、閉める

D 掃除

- 1 □ 窓を拭く
- 2 □ 玄関
- 3 □ お風呂場
- 4 □ トイレ
- 5 □ キッチン
- 6 □ 洗面所・洗濯場
- 7 □ ベランダや庭
- 8 □ タオルを取り替える
- 9 □ 換気扇
- 10 □ 排水溝を洗う
- 11 □ 家中を掃除機・モップかけ
- 12 □ 壁・床・棚の拭き掃除
- 13 □ アイロンかけ

E 洗濯

- 1 □ 洗濯物のポケットの中などを確認する
- 2 □ 洗濯機を回す
- 3 □ 洗濯物を干す
- 4 □ 洗濯物を取り込む
- 5 □ 洗濯物をたたむ
- 6 □ 洗濯物を分類する・しまう
- 7 □ フィルターのホコリを取る

F ごみ捨て

- 1 □ 分別する
- 2 □ 集める
- 3 □ 袋を交換する
- 4 □ ごみステーションに出す

G 買い出し

- 1 □ 日用品の購入・補充
- 2 □ 調味料などの補充
- 3 □ 宅配サービスを注文する

H お風呂

- 1 □ 浴槽を洗う
- 2 □ お風呂を入れる、わかす

I 雑用・不定期なもの

- 1 □ 家族のスケジュール管理
- 2 □ レジャーの予定を立てる
- 3 □ 親戚と連絡をとる
- 4 □ 家計簿をつける
- 5 □ 通帳記帳や資産運用をする
- 6 □ 公共料金を支払う
- 7 □ 米・ビールの補充
- 8 □ 植物の水やり
- 9 □ 加湿器に水を入れ除湿器に水を入れる
- 10 □ 靴を磨く
- 11 □ 洗車する
- 12 □ ガソリンを入れる
- 13 □ 夏用・冬用タイヤを交換する
- 14 □ 灯油の購入、補充
- 15 □ 雪かき
- 16 □ クリーニングに出す、取りに行く
- 17 □ 衣替えをする
- 18 □ お中元、お歳暮、お供え等の手配
- 19 □ 役所に書類を提出する
- 20 □ 電球を取り換える
- 21 □ 家電を選定・購入・設置する
- 22 □ 家電の修理をする・依頼する
- 23 □ 新聞をまとめて捨てる
- 24 □ 段ボールをつぶして捨てる
- 25 □ 地域の集会などに参加する
- 26 □ 地域の日役（清掃・草刈り等）に参加する
- 27 □ 精米する

育児

1 食事・食事の片付け

- 1 □ 離乳食、幼児食、ミルクを作る
- 2 □ 食べさせる、授乳、ミルクをあげる
- 3 □ 食べこぼしの掃除
- 4 □ 食器、哺乳瓶の消毒
- 5 □ 水筒を洗う

2 洗濯

- 1 □ 洗濯物の消毒、予洗い
- 2 □ ポケットの中を確認
- 3 □ こども服の洗濯
- 4 □ 体操服を洗う

3 こどもの身支度

- 1 □ 起こす
- 2 □ 顔を洗う、きれいに拭く
- 3 □ 手を洗わせる
- 4 □ おむつ替え、トイレに連れていく
- 5 □ 着替え・身支度・持ち物準備
- 6 □ 水筒にお茶を入れる
- 7 □ 薬を飲ませる
- 8 □ 爪を切る・耳掃除をする
- 9 □ はみがき

4 掃除

- 1 □ おもちゃの除菌
- 2 □ 部屋の掃除

5 整理整頓

- 1 □ 部屋の整理整頓
- 2 □ おもちゃの片付け
- 3 □ テストやプリントの管理

6 お風呂

- 1 □ お風呂に入れる
- 2 □ 体を拭く・髪を乾かす
- 3 □ パジャマを着せる
- 4 □ 水分補給

7 寝かしつけ

- 1 □ 絵本の読み聞かせ
- 2 □ 寝かしつける
- 3 □ 布団をかけなおす
- 4 □ 夜泣き対応

8 遊ぶ

- 1 □ 遊ぶ
- 2 □ グズリ対応
- 3 □ スマホ・ゲームの管理

9 園・学校

- 1 □ 園・学校の送迎
- 2 □ 連絡帳・アプリを見る・書く
- 3 □ 給食袋、体操着などの準備
- 4 □ 行事ごとの持ち物把握
- 5 □ 習い事の送迎
- 6 □ 勉強を見る
- 7 □ 交友の把握・管理

10 こどもの雑用・不定期なもの

- 1 □ 写真の整理保管
- 2 □ 靴を洗う
- 3 □ 持ち物に記名する
- 4 □ 病院に連れていく
- 5 □ 予防接種や健診を予約する
- 6 □ 予防接種や健診に連れていく
- 7 □ 服のサイズチェック・処分
- 8 □ 持ち物の裁縫をする
- 9 □ ボタンをつけなおす
- 10 □ 園・学校の呼び出しに対応する
- 11 □ 習い事に参加
- 12 □ 行事に参加
- 13 □ 学校のPTA 活動に参加
- 14 □ 保護者会に参加

1 一人1枚のシートを使います。リストを参考に1日の過ごし方を書き出してみましょう

わたしの1日の過ごし方

平日

0時

1

2

3

4

休日

0時

1

2

3

4

5

6

3 右ページでマークしたリストを参考に書き出します

4 休日も同じように書き出します

起床 6

食事の片付け A-4,6,8 B-1,3

7 自由の身支度 子どもの身支度 (A-1~6)

おみ F-2,4 公園用意 V-2,3

出勤 8 送迎 U-1

家事に関すること、育児に関すること、自分のこと等を色分けすると見やすくなります

11 (不定期)

園呼び出し対応 (A-10)

17 園 U-1,2 買い物 G-1,2 A-1

帰宅 18 食事 A-2,3,4,6,7,8 子どもの食事 U-1~5

片付け B-1 子どものお風呂 U-1~4

お風呂 H-1,2

20 掃除 E-1,2

21 洗濯 E-1,2

食事 片付け 整理整頓 掃除

A-6,7,8 B-1,2,3 C-2,3,4,7,9 D-10

23 録画してテレビを見る

就寝 24

起床 6

7 子どもの身支度 (A-1~5)

洗濯 E-1,2

8 食事 A-2,4,6,7,8

片付け B-1~6

洗濯 E-3

掃除 D-1,2,4,5,6,8,11

お出かけ

子どものお風呂 (U-1~4)

16 買い物 G-1~3

洗濯 E-4~7

17 食事 A-2~9 子どもの食事 U-1~3

18 お風呂 H-1,2 子どものお風呂 U-1~4

20 寝かしつけ U-1~4

食事の片付け 整理整頓

B-2~9 C-2~4,7

22 園・翌日の準備 U-3,4

テレビを見る

5 書き終わったら、お互いにシートをシェアします

就寝 24

2 主な家事・育児リストの中で自分がしているものをマークします

主な家事・育児リスト

- | | | |
|---|---|---|
| A 食事
1 □ 献立を決めて買い物をする
2 □ テーブルを拭く
3 □ お米を研ぐ
4 □ 料理する
5 □ 料理の作り置きをする
6 □ 盛り付けする
7 □ 食器や箸を並べる
8 □ 配膳する
9 □ お茶をわかす
10 □ 弁当を作る | D 掃除
1 □ 玄関
2 □ お風呂場
3 □ トイレ
4 □ キッチン
5 □ 洗面所・洗濯場
6 □ ベランダや庭
7 □ 換気扇
8 □ 排水溝を洗う
9 □ 家中を掃除機・モップかけ
10 □ 壁・床・棚・窓を拭く
11 □ タオルを取り替える | H お風呂
1 □ 浴槽を洗う
2 □ お風呂を入れる、わかす |
| D 食事の片付け
1 □ 食器をシンクに持っていく
2 □ 残り物を片付ける
3 □ 食器を洗う (食洗機にかける)
4 □ 食器を拭く (乾燥機にかける)
5 □ シンクを洗う、拭く
6 □ 食器・調理器具をしまう
7 □ まな板除菌・漂白
8 □ 包丁を研ぐ
9 □ 排水口のごみを捨てる | E 洗濯
1 □ 洗濯物のポケットの中などを確認する
2 □ 洗濯機を回す
3 □ 洗濯物を干す
4 □ 洗濯物を取り込む
5 □ 洗濯物をたたむ
6 □ アイロンかけ
7 □ 洗濯物を分類する・しまう
8 □ フィルターのホコリを取る | I その他・不定期なもの
1 □ 家族のスケジュール管理
2 □ レジャーの予定を立てる
3 □ 親戚と連絡をとる
4 □ 家計簿をつける
5 □ 通帳記帳や資産運用をする
6 □ 公共料金を支払う
7 □ 米・ビールの補充
8 □ 精米する
9 □ 植物の水やり
10 □ 加湿器に水を入れ除湿器の水を捨てる
11 □ 靴を洗う・磨く
12 □ 洗車する
13 □ ガソリンを入れる
14 □ 冬用タイヤの交換
15 □ 灯油の購入、補充
16 □ 雪かき
17 □ クリーニングに出す、取りに行く
18 □ 衣替えをする
19 □ お中元、お歳暮、お供え等の手配
20 □ 役所に書類を提出する
21 □ 電球を取り換える
22 □ 家電を選定・購入・設置する
23 □ 家電の修理をする・依頼する
24 □ 新聞をまとめて捨てる
25 □ 段ボールをつぶして捨てる
26 □ 地域の集会などに参加する
27 □ 地域の日役 (清掃・草刈り等)に参加する |
| C 整理整頓
1 □ 電気を消して回る
2 □ 出しっ放しのをしまう
3 □ 買い出ししたものをしまう
4 □ 玄関の整理整頓
5 □ ベッドや布団を整える
6 □ 郵便物の仕分け・整理
7 □ 新聞や雑誌を片付ける
8 □ ティッシュ・トイレトペーパーの交換
9 □ カーテンを開ける、閉める | F ごみ捨て
1 □ 分別する
2 □ 集める
3 □ 袋を交換する
4 □ ごみステーションに出す | J 園・学校
1 □ 園・学校の送迎
2 □ 連絡帳・アプリを見る・書く
3 □ 給食袋、体操着などの準備
4 □ 行事ごとの持ち物把握
5 □ 習い事の送迎
6 □ 勉強を見る
7 □ 交友の把握・管理 |
| G 買い出し
1 □ 日用品の購入・補充
2 □ 調味料などの補充
3 □ 宅配サービスを注文する | K 掃除
1 □ おもちゃの除菌
2 □ こども部屋の掃除 | その他・不定期なもの
1 □ 写真の整理保管
2 □ 靴を洗う
3 □ 持ち物に記名する
4 □ 病院に連れていく
5 □ 予防接種や健診を予約する
6 □ 予防接種や健診に連れていく
7 □ 園・学校の呼び出しに対応する
8 □ 習い事に参加する
9 □ 行事に参加する
10 □ 園・学校の呼び出しに対応する
11 □ 習い事に参加する
12 □ 行事に参加する
13 □ PTA 活動に参加する
14 □ 保護者会に参加する |

育児

I こどもの食事・片付け

1 □ 離乳食、幼児食、ミルクを作る
 2 □ 食べさせる、授乳、ミルクをあげる
 3 □ 食べこぼしの掃除
 4 □ 食器、哺乳瓶の消毒
 5 □ 水筒を洗う

3 洗濯

1 □ 洗濯物の消毒・予洗い

2でマークしたリストを見比べると、どちらの負担が大きいか参考になります

あなたの地域の男女平等度は？

出典：都道府県版ジェンダーギャップ指数（共同通信社）サイト

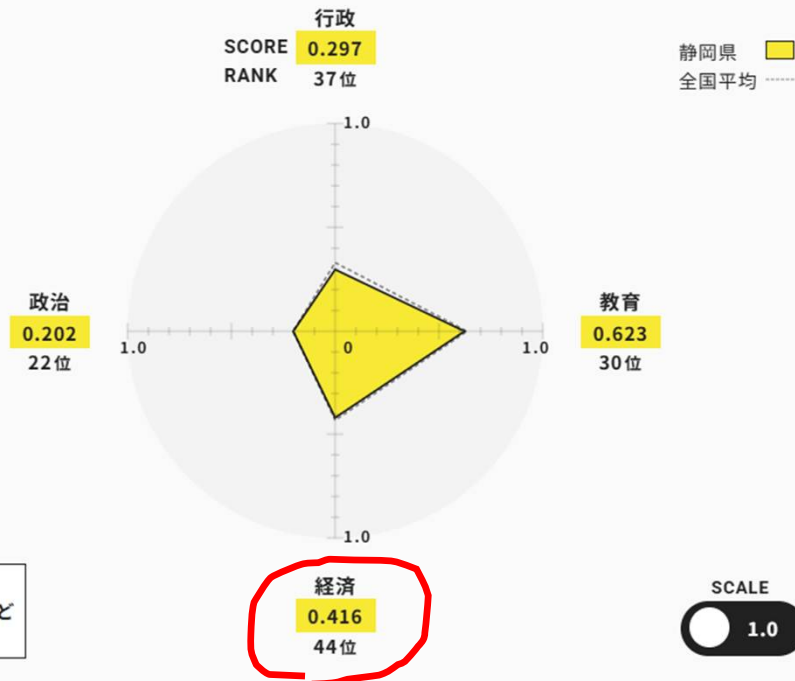
資料 6

都道府県版ジェンダー・ギャップ指数



2026年

静岡県



指数が1に近づくほど男女平等

静岡県の強みと課題

市町村の女性議員が比較的多いのですが、女性ゼロ議会が一つ増えた（2024年末時点）ことで政治分野は前年と同じ22位でした。行政・教育分野は順位を下げたものの、個々の指標を見れば、格差解消の取り組みの成果も見られます。県庁の大卒程度採用や管理職の女性割合は上昇。高校の校長の女性比率が高めで、女性の四年制大学進学率も伸びました。課題は44位と低迷する経済分野です。フルタイムで働く女性比率が上がったものの、女性の賃金は前年比マイナスで、上昇した男性との格差が広がりました。「男性が稼ぎ、女性は支える」という性別役割意識を見直し、職場と家庭の両方で男女が責任を共に担う機運醸成が求められます。

2026年

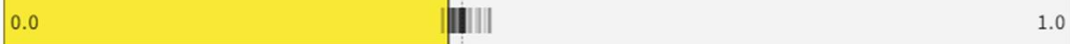
静岡県



経済

静岡県 全国平均 全国分布

SCORE 0.416 (0.416) RANK 44位 (42位)



就業率の男女差

0.780 (0.780) 17位 (17位) ※()は前年



フルタイムの仕事に従事する割合の男女比

0.701 (0.643) 19位 (31位) ※()は前年



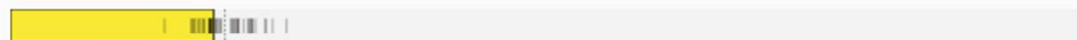
フルタイムの仕事に従事する男女間の賃金格差

0.731 (0.756) 47位 (35位) ※()は前年



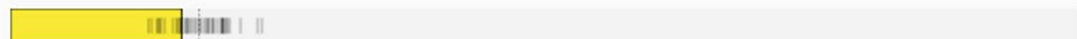
共働き家庭の家事・育児などに使用する時間の男女格差

0.190 (0.190) 28位 (28位) ※()は前年



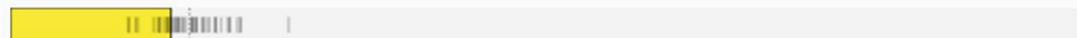
企業や法人の役員・管理職の男女比

0.160 (0.160) 34位 (34位) ※()は前年



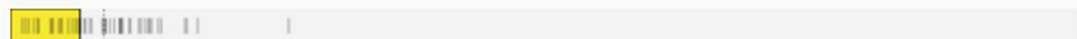
社長数の男女比

0.150 (0.146) 34位 (34位) ※()は前年







農協・漁協役員の男女比

0.065 (0.065) 30位 (31位) ※()は前年



(3)学校・教職員への過剰な要求への対応強化

取組の方向性	子供たちの健やかな成長を願うパートナーである保護者・地域との信頼関係構築に向けて取り組むとともに、社会通念上許容される範囲を超える行為等に対する組織としての対応力を強化します。
--------	--

取組	内容	対象／分類
①浜松市カスタマーハラスメント対策基本方針に基づいた対応 〈新規〉	<ul style="list-style-type: none"> 市の基本方針を踏まえ、<u>学校で起こり得る社会通念上許容される範囲を超える行為等(※)に対する対応を整理し、周知徹底を図ります。</u> 	小・中・高 
②スクールロイヤーの配置	<ul style="list-style-type: none"> 学校が抱える問題やトラブルの初期対応段階において法律相談を実施することにより、学校がとるべき適切な対応について助言等を行います。 教職員を対象とした講義や研修により、危機管理能力や法的思考力の向上を図ります。 	小・中・高 
③学校問題解決に向けた体制強化 〈新規〉	<ul style="list-style-type: none"> <u>弁護士が学校を支える専門家の一員として、保護者対応時の同席や学校の代理人として直接保護者等と交渉を行う、スクールアトニーの配置を検討します。</u> 学校で発生する様々な問題に対して迅速かつ適切に対応するため、<u>学校問題解決支援コーディネーターの配置を検討します。</u> 	小・中・高 
④学校電話機への通話録音、非通知拒否機能等の追加 〈拡充〉	<ul style="list-style-type: none"> 非通知電話による苦情やいたずら等の抑止を図るため、学校電話へ非通知拒否機能、通話録音機能を追加し、教職員の心理的安全性を確保します。 	小・中・高 

※ 学校で起こり得る社会通念上許容される範囲を超える行為等

《社会通念上許容される範囲を超える行為例》

- 教育活動に対する過剰な干渉や要求（授業内容、宿題の量、座席等）
- 怒鳴り声、侮辱的な発言、人格否定
- 物を投げる、机をたたく、蹴る
- 業務に支障が生じるような長時間の居座り
- 度重なる電話、頻繁な来校
- 多項目に及ぶ質問への回答要求
- 学校内や教職員の容姿の無断撮影
- インターネット上への投稿、名誉棄損

《合理性を欠く不当・過剰な要求例》

- 土下座の要求
 - 過度な謝罪の要求（謝罪文の提出、読み上げ）
 - 成績に関する不当な要求
 - 担任の変更、異動、辞任の要求
 - 公平性を著しく欠いた、特別扱いの要求
 - 教職員個人への損害賠償や慰謝料の要求
- など